GT-ROLLER Q2

ユーザーマニュアル

⚠ 重要なお知らせ

- GT-Roller Q2 は、ユーザー自身でバランスを取りながら使用する必要があります。使用には、転倒・怪我・機材破損等のリスクがあります。自身のスキルに見合った使用を心掛けてください。
- 記載されている内容に不明点がある場合は作業をしないでください。購入された販売店へご相談ください。
- 本製品の不良以外で、使用中に発生した事故による損害、怪我などについては、当社は一切の責任を負いません。(取り付け不良、メンテナンス不足なども含む)
- 本製品の設計や特徴に関するコンセプト＆データを弊社ウェブサイトで公開しています。製品を使用する前にご一読することをおすすめします。

安全のため、必ずこのユーザーマニュアルをよくお読みの上、製品の取り付け作業や使用するようにしてください。

⚠ 注意・警告

- 異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。製品の破損や事故の原因となります。
- 製品が破損した場合には、すぐに使用を中止してください。転倒等の事故の原因となります。
- 屋内及び砂やホコリ、水等がない環境で使用してください。屋外で使用した場合、製品が故障する原因となります。
- 湿度の低い室内で保管してください。錆び等の原因になります。
- 適切でない場所で保管した場合の故障は保証対象外です。
- 水や汗等が付着した場合、すぐに拭き取ってください。放置した場合、製品の破損や事故の原因となります。
- 泥が付着したタイヤで使用しないでください。製品が故障する原因となります。
- トレーニング中及びトレーニング直後のローラーパイプには触れないでください。ローラーパイプは非常に高温になるため、触れると火傷をする可能性があります。
- 製品使用中に、ブレーキをかけないでください。ブレーキをかけた場合、製品等の破損や事故の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 定期的にネジの緩み等の点検を行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、高温になるところに置かないでください。製品が変形する原因となります。
- 本取扱説明書に従ってご使用ください。従わない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- 安全な環境で使用してください。安全な環境で使用しない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- E-BIKE(電動アシスト等) で使用しないでください。製品の破損や事故につながる原因となります。
- 自転車以外または適応しない自転車での使用はしないでください。製品の破損や事故の原因となります。
- 体重制限を超えて使用しないでください。製品の破損や事故の原因となります。

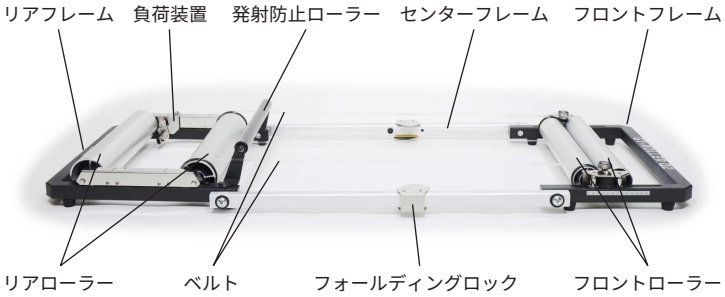
1. 対応する使用環境

推奨するホイールサイズ	26 インチ以上
推奨するタイヤ *	iRC ROADLITE HOMETRAINER
推奨するタイヤ幅 **	23-28mm
対応するホイールベース幅	950 - 1075mm
体重制限(自転車含まず)	100kg

* その他タイヤでも使用可能ですが、パターンのついたタイヤはスキール音が大きくなる場合があります。

** 推奨幅以上のタイヤを使用すると、脱輪防止ローラーを乗り越える場合があります。

2. 各部名称



3. 設置と調整

3-1. 設置

できるだけ水平な場所に設置してください。

砂利、未舗装路等凹凸のある場所には設置できません。

絨毯・トレーニングマット等、沈み込む場所に設置する場合は、ローラーが接触しないかを確認してください。接触する場合は、荷重を分散させ沈み込まないように各脚部に板を挟む等の対応をしてください。

乗降のしやすさやバランスを崩した場合に備えて、踏み台を使用したり、手すりや壁等の近くに設置することを推奨します。

3-2. 準備

Ⅰ　フォールディングロックを外側にスライドし、ロックを解除します。

Ⅱ　フロントフレームを持ち上げて、展開します。

Ⅲ　「3-3 ホイールベース調整」を参照し、使用する自転車に最適な位置に調整します。

Ⅳ　ベルトをプーリー部分に掛けます。

ロック解除

フロントフレームを持ち上げ、ベルトを緩めます

3-3. ホイールベースの調整

Ⅰ　前後のプーリー部分からベルトを外側に外します。

Ⅱ　ホイールベース調整ネジ(計４本)を緩めます。

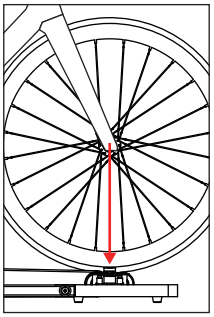
Ⅲ　使用する自転車を乗せ、ハンドルをまっすぐにします。

Ⅳ　フロントハブの中心の真下にフロントローラーの間の隙間が来るように、フロントローラーの位置を調整します。

Ⅴ　目盛りを参考に、左右同じ位置にあるかを確認します。

Ⅵ　ホイールベース調整ネジ（計４本）を締め付けます。（5mm 六角レンチ 8Nm）

Ⅶ　スペーサーが正しく挿入されているかを確認します。



3-4. 発射防止ローラーの位置変更

Ⅰ　左右のボルトを抜き取ります。*（4mm 六角レンチ）

Ⅱ　取り外したボルトにグリスを塗布します。

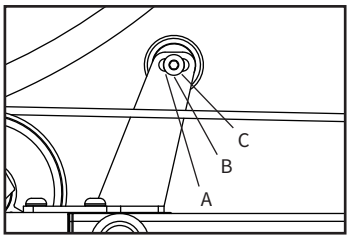
Ⅲ　お好みの穴位置（A・B・C）に発射防止ローラーを合わせ、ボルトで取り付けます。（4 - 5Nm）

* 片側のボルトを取り外し、もう片方のボルトを緩める時に、軸が空転してボルトが緩まない場合

・取り外したボルトを再度取り付け、2 - 3Nm 程度締め付けます。

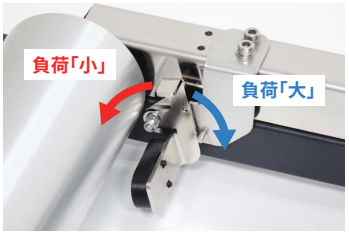
・空転したボルトを取り外します。

・取り付けたボルトを取り外します。



3-5. 手動負荷装置

負荷は５段階に調整が可能です。
負荷装置をローラーに近づけると、
負荷が強くなります。



3-6. エレベーター機能

フロントフレームを持ち上げることにより、０～１０％の勾配の再現が可能です。

Ⅰ　木の板等、安定性のあるものを台にして、左右同じ高さで床と平行に置きます。

Ⅱ　台にフロントフレームを置きます。

Ⅲ　各脚が台に乗っていること、ベルトやセンターフレームが台に接触していないことを確認します。

［勾配の再現方法］

自転車のホイールベースが 100cm の場合、フロントフレームを 1cm 持ち上げると１％の勾配再現ができます。

$$\text{台の高さ} = \frac{\text{ホイールベース} \times \text{勾配}(\%)}{100}$$

台にベルトやセンターフレームが接触しないこと

左右同じ高さに床と並行にする

ゴム足が乗っていること

注意：「0%を下回る下り坂状態」「10%を超える上り坂状態」は危険です。行わないでください。

4. 乗車の際の確認事項

4-1. 乗車前

・ホイールベースに合わせて適切に調整されていることを確認してください。
適切でない場合、脱輪や自転車が飛び出す等の事故につながることがあります。

・タイヤの空気圧が適切であることを確認してください。
空気圧が低い場合、タイヤサイドに亀裂が生じたり、パンクすることがあります。

・タイヤサイドのひび割れ等がないかを確認してください。
タイヤが劣化している場合、タイヤが裂ける恐れがあります。

・タイヤに砂等の付着、異物の食い込みがないかを確認してください。
ローラーに傷が付く可能性があります。

・使用する自転車が正常に機能するかを確認してください。

・本製品のネジの緩み等がないかを確認してください。

4-2. 乗車中

・本製品はバランスを取りながら使用する必要があります。
バランスを崩さないように、自身のスキルに見合った使用を心掛けてください。

・ブレーキをかけないでください。ブレーキをかけた場合、自転車が後方へ飛び出す可能性があるため、大変危険です。

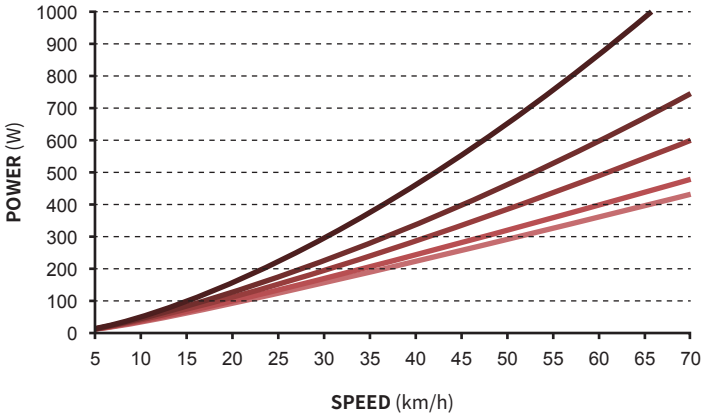
4-3. 乗車後

・本製品に付着した汗等をかならず拭き取ってください。
拭き取らないと錆び等の原因になり、故障する可能性があります。

・フロントフレームを持ち上げて、ベルトを弛ませてください。
伸ばしたままの場合、ベルトの寿命が短くなります。

5. 負荷特性（参考）

使用者の体重、自転車の重量、タイヤの銘柄や状態などによって数値は変化します。



6. 製品仕様

サイズ	1385×570×140
（折りたたみ時）	770×570×140
重量	約15kg

困ったときは
使用・取り付けに関する各種 FAQ はこちら

さらに詳しく
各種ドキュメントはこちら

その他製品
GROWTAC のウェブサイトはこちら

GROWTAC

v1_202311